

物語風の大会案内 (波線を確認する) 改訂版

今日は明るいうちに、Bさんと一緒にゴールのホテルに着けた。
ゴールテープも電光時計もない。今日は少しコースアウトしたが、完走の○印だ。
フロント受付に「代表森塚で予約しているAです」と言い、宿泊料を前払していると、
先に着いたCさんがエレベーターから降りてきた。

C 「洗濯機回すけど、一緒にどうですか」

A+B 「おおきに、ちょっとだけ待って」

今日は早く着いたので、夜7時からのミーティングまでに時間がある。
とりあえず、シャワーを浴びて汗を落とす。
食事はホテルの近くに食堂があったので、おもいきり食べる。昼はコンビニだったので、たまの贅沢もいいだろう。
洗濯は出したのでOK。日課の靴の手入れ、爪の手入れ・・・・
そして、コメントシールに今日一日の感じた事を書いておく。

そんな事をしているうちに8時前になった。今日・明日のコース図とコメントシールと筆記具を持ってフロントに行き、ミーティングの場所を教えてください。

集合場所には、すでに殆どの人が来ていて、今日一日の話が飛び回っている。
「かわら版」にコメントシールを貼り付け、名前の横の欄に今日の成績を記入する。
昨日は、疲れをとるため後半電車に乗ったので、部分走の△印だったが、今日は完走の○印。嬉しい。
昨日分のかかわら版のコピーを2枚頂く。1枚は自分用だが、あとの1枚は怪我をしている走り友達の激励用だ。自分で用意した封筒に入れて後から送ろう。
荷物はなるべく少なくしたいので、走り終えたコース図は2～3日毎にメール便(80円)を利用して送っている。各自が用意したスティック糊で封をして、後でコンビニから自宅に送っておこう。

あと一人到着しない人がいたが、やっとゴールした。そのままの格好でミーティングに加わる。予定どおり夜7時からミーティングが始まり、今日のコースの確認と反省、明日のコース説明がある。

この説明を聞いていないと安心出来ない。国土地理院の2万五千分の地形図に書かれたコース図は、古い旧道をトレースしたものだ。通れるかどうか現地に行かないと判らない。コースを探しながらの走りだ。地図を読み間違っただけのコースアウトには要注意だが、おもしろい物を発見するコースアウト・変更はOKだ、走り旅だから。

ミーティング終了後、寝るまではいつもバタバタするが今日はゆっくり出来た。明日の準備も出来たので、さっき頂いた昨日のかかわら版をもう一度見ながらベッドで横になる。

朝、4時に目を覚ます。コンビニで買っておいたパンと飲み物で朝の食事を済ます。
5時前に、フロントに行き精算を済まし、ホテルの玄関前で、朝5時の一斉同時スタートを待つ。今日も一日、また走れる。